

# 横手市民スポーツ交流大会ソフトバレーボール競技規則

## I. コートと用具

1. コート、は縦13.4m、横6.1mとする周囲に最低2mのフリーゾーンを設ける  
※ バドミントンのダブルスコートと同じ大きさ
2. ネットは、幅80cmのソフトバレーボール用ネットを高さ2mのソフトバレーボール用支柱に張る  
※ バドミントン用ネット、バドミントン用支柱で代用可能
3. ボールは、ゴム製で重さ210g $\pm$ 10g、円周78cm $\pm$ 1cmのソフトバレーボールを使用する
4. アンテナは、ボールの外側にネットから100cm上方に出るように取り付ける

## II. チーム

1. チームは、交代選手を含め6人以内とし、女性が2人以上入っていることとする

## III. 試合方法

1. 試合は、4人対4人で行う
- 2.じゃんけんでコートかサービス権を決める
3. 男女混合チームとし、常に女性を2人以上コート内に置くこととする
4. 各部門に分かれて予選リーグを行い、順位決定後、決勝トーナメント戦を行う
5. 決勝トーナメント戦は、予選リーグ終了1時間後に開始する
6. 1セットは15点のラリーポイント制で、両方14点になったときは、その後2点差がつくまで行うただし17点で打ち切り、17点を先取したチームを勝者とする
7. 予選リーグは1セットマッチ、決勝トーナメント戦は3セットマッチとする
8. タイムはセットあたり2回までとする（1回30秒）
9. 選手交代はセットあたり4回までとする
10. コートの交替は各セットごとに行う最終セットについては、いずれかのチームが8点になった時点で交替する

## IV. ルール等

1. サービス
  - 1) サービスは1回とする
  - 2) サービスが打たれる瞬間には、各チームの選手はサーバーを除いて定められた各ポジションに位置すること
  - 3) サービスが打たれた後はどのように移動しても良い  
※ 相手チームのコートの中に入るなどは不可
  - 4) サーブはローテーションで後衛右側に位置した選手がエンドライン後方のサービスゾーンから行う
  - 5) サービスは相手チームにサービス権が移行するまで、同じ選手が続けて打つ
  - 6) サービスをレシーブするチームがサービス権を得たとき、そのチームの選手は、時計回りに1つずつ位置を移動（ローテーション）する

## 2. ボールへの接触

- 1) チームはネットを越えてボールを返すために、ブロックへの接触を除いて最大限3回プレーすることができる
- 2) チームの第1回目打球のとき、ボールが身体の2か所以上に連続してあたっても良いただし、その接触は、一つの動作中のものに限られる
- 3) ボールは身体のどの部分にあたっても良い
- 4) 同じチームの2人以上の選手が同時にボールに触れた場合は、1回触れたものとし、いずれの選手も引き続いてボールに触れることができる

## 3. アタックヒット

- 1) サービスを除き、ボールを相手チームに向かって送ろうとするすべての動作は、アタックヒットとみなされる
- 2) 4人の選手はどの位置にいるときでも、味方のプレー空間内であればどのような高さからでもアタックヒットを行うことができる

## 4. ブロック

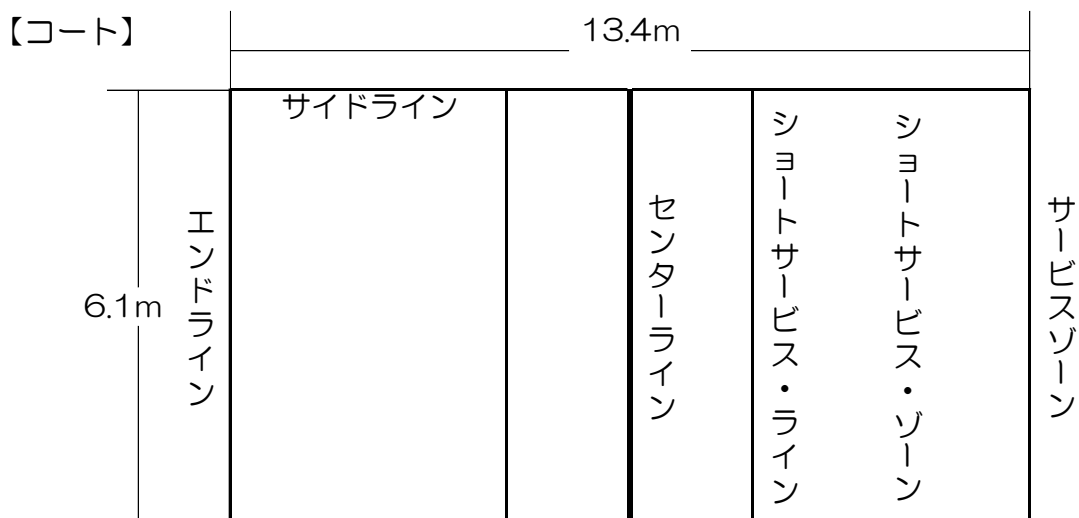
- 1) ブロックの形をしていても、接触したときのボールの高さにかかわらず、身体の一部がネット上端より高い位置にないときは、ブロックとみなさない
- 2) 4人の選手はどの位置にいるときでも、相手のプレー後、ブロックすることができる
- 3) ボールが相手コート内にある場合に、ネット上を越えて、これをブロックすることはできないその基準はボールを手（身体）接触点で判定される
- 4) ブロック後の第1回目の接触は、ブロックのときボールに触れた選手を含めて誰が触れても良い
- 5) ブロックワンタッチは、1本目と数えない

## V. 反則（相手チームに1点が与えられる）

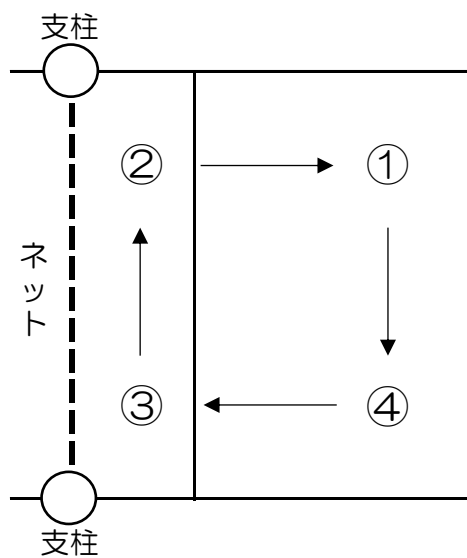
1. サーブがネットに触れて相手コートに入ったとき
2. チームが、サービスの順を誤ってサービスを行ったとき
3. サービスを直接ブロック並びにアタックしたとき
4. サーバーがボールを打った瞬間、あるいはジャンプサービスをするため踏み切ったときコート（エンドラインを含む）やサービスゾーン外のフリーゾーンに触れたとき
5. ボールに接触中、明らかにボールが止まるようなプレーがあったとき
6. ボールを身体の一部で静止させたり、つかんだり、投げたとき
7. ネットを越えて相手コート内にあるボールに触れたとき
8. 同じ選手が明らかに2回続けてボールに触れたとき（ブロックの場合を除く）
9. インプレー中に、ネットやアンテナに触れたとき（支柱に触れた場合を除く）
10. センターラインを完全に越えて、相手コートに触れたとき
11. ボールがコート外の物体やネット情報のアンテナのみに触れたとき
12. 相手チームの選手に接触し、その選手のプレーを妨害したとき
13. 相手コート内にあるボールに、ネットの反対側から故意に触れてプレーを妨害したとき

## Ⅵ. ダブルファウル（ノーカウント）

1. 両チームの選手が同時に反則をしたとき
2. ネット上で、両チームの選手が同時に接触し、そのボールがアンテナに触れたときやアンテナ上方を通過したとき



### 【ローテーション】



### 【オーバーネット】

